

研究課題名「医療チームとかかりつけ薬局が連携した腹膜透析患者に対するチーム医療の構築」に関する情報公開

1. 研究の対象

当院腹膜透析患者

2. 研究目的・方法

【研究目的】

名古屋大学医学部附属病院では、医師、薬剤師、看護師、臨床工学士からなる医療チームを発足し、外来および入院患者に対する各職種の評価を情報共有し、必要に応じて治療計画を立案・実施している。しかし、薬剤師による薬物療法管理支援は、入院患者が中心であり、外来患者に対する支援が不十分であった。

今回、腹膜透析患者に対して退院時から外来期間中までをシームレスに質の高い薬物療法を提供するために、薬局薬剤師と連携したチーム医療を構築したので、その支援効果を調査する。

【研究方法】

治療計画連携方法：PDCA サイクルに基づいた次の薬物療法管理支援を実施する。

- ① 医療チームは、対象患者を評価し、問題があれば治療計画を立案する。
- ② 2医療チームは、それぞれの職種が担当する治療計画を実施する。
- ③ 外来患者に対する薬物療法支援が必要な場合には、医療チームと薬局薬剤師は、服薬指導依頼せんを用いて治療計画を共有する。
- ④ 薬局薬剤師は、治療計画を継続実施する。
- ⑤ 薬局薬剤師は、計画の実施状況の報告、新たな問題に対する治療計画を医療チームに提案する。
なお、問題がない場合でも、服薬指導依頼せんを用いて情報共有する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

評価項目：対象患者数、年齢、性別、使用薬剤、処方の一包化状況、服薬アドヒアランス、医療チームおよび薬局薬剤師の治療計画立案件数など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

施設名：名古屋大学医学部附属病院

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話番号：052-741-2111

所属・担当者：薬剤部・福澤 翔太

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 山田清文